

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものに、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようにご注意ください。

事業所名	グループホーム 百合砂
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	鹿児島県西之表市西之表6095番地
記入者名 (管理者)	木原 保子(管理者 沖田 さち子)
記入日	平成 19 年 10 月 31 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている 理念は作りあげている。玄関横や和室に常時掲げています。	○	理念をきちんと理解し、今後も実践に向け努力していきたい。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる 管理者、職員は理念を理解共有し、理念に基づいた支援が提供出来る様努めています。	○	利用者一人々に寄り添うサポートを継続していきたい。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる 地域の様々な行事に参加し、グループホームへの認識と理解が得られる様取り組んでいます。	○	心身の状況を考慮しながら、お一人でも参加出来る様支援を継続して行きたい。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている 散歩の途中や買物時等、気軽に声を掛け合ったりしているが、まだ十分とはいえません。	○	親しみ易い感じの手作りの表札を玄関横に付けたり努力はしているが、もっと日常的な触れあいが多くなる様努力していきたい。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている 近隣地域、小学校等の行事に参加する等交流を深めています。	○	今後も継続し、地域との交流が出来る様努めていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在のところ、地域の高齢者等の暮らしに役立つ事は特別にしていません。	○	関係機関等に働きかけ、情報を得ながら、貢献出来る事はないか相談していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し、事業所のサービスの質を見直し、向上につながる様に取り組んでいます。	○	各種の研修や地域の行事へ参加し、個々の資質の向上を目指したい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状態、運営の状況を報告し、情報や意見を頂き、サービスの向上に努めています。	○	内容の充実を図り、サービスの向上へつなげたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	随時相談や指導を受け、サービスの質の向上に努めています。	○	今後も連携を図り、さらなるサービスの質の向上に努めていきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会やパンフレット等で制度についての知識は得ている。制度利用者とは弁護士や家族ときちんと連携をとっています。	○	身近な事としての認識がまだ薄いので、関係機関に研修等の依頼をしていきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日常的に虐待については話題にし防止につとめているが、きちんとした研修会は開催できていない。	○	外部研修や勉強会等で共通理解を深めたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に詳しく説明し同意を得ています。疑問のある場合は、その都度納得されるまで説明する旨お伝えしてあります。</p>	<p>○</p> <p>今後共、きちんとした説明に努め、理解、納得を得ていきたい。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>普段から何でも話せる雰囲気作りに努めています。面会の方等、外部の方へも本音が言える環境作りにも努めています。</p>	<p>○</p> <p>日常的に本音で会話出来る場所を提供し、感情の表出に努めていきたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>グループホーム便りを毎月写真入りで作成し、家族に送付しています。また、金銭関係等は定期・随時に通信や電話等で報告しています。</p>	<p>○</p> <p>継続して、きちんとした状況報告に努めていきたい。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>窓口に意見箱を設置しています。日頃から面会時や交流会等で、気軽に相談して頂けるよう話しています。</p>	<p>○</p> <p>家族との信頼関係を深め、何でも話せる雰囲気作りに努めていきたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会や日常のサポートの中で、意見や提案は何時でも話せる様にしています。</p>	<p>○</p> <p>職員の誰もが、気軽に意見や提案が出来る雰囲気作りを継続していきたい。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>人員を必要とする行事や緊急時には対応出来るよう調整しています。</p>	<p>○</p> <p>今後とも柔軟な対応が出来るよう、調整を図っていきたい。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者が不安を抱かないよう、異動や退職前に新旧の職員で支援出来るよう配慮しています。</p>	<p>○</p> <p>利用者への心身の負担のないよう、十分配慮していきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種の研修会への参加、法人内での勉強会を実施しています。	○ 研修会参加の機会を増やし、個々の資質の向上に努めたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同系列の施設やグループホーム訪問の受け入れ、他グループホームの訪問の受け入れ等実施し、相互にサービスが向上されるよう取り組んでいます。	○ 今後更に機会を多くし、相互にサービスの向上が図れるよう努めていきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人内でのミニバレー大会への参加や、会議後お茶等飲みながら気軽に話せる場を持っています。	○ 職員の誰もが、気軽に意見や提案が出来る雰囲気作りを継続していきたい。今後は食事会なども計画してみたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	毎月、個々で課題を設定し、振り返り・反省・目標の達成度等、自己評価をし、各自が向上心を持てるようにしています。	○ 個々の個性を尊重し、得意分野を活かし意欲を持って働けるよう取り組んでいきたい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	意向等は日常生活の中で、さり気なくお聞きするようにしています。本人の生活歴や健康状態については、本人や家族や家族の同意の下、居宅のケアマネや主治医より情報を得ています。	○ 初回で把握出来ていない事等は、日常生活の会話の中で把握できるよう、コミュニケーションを密に図り、信頼関係を構築していきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初期の相談時、ご家族と十分に話をし、求められる事や不安な事などお聞きしている。また、面会時や電話等で何時でも、何でも相談出来る体制作りをしています。	○ 日常的に本音で会話出来る場所を提供し、感情の表出に努めていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」ま ず必要としている支援を見極め、他のサービス 利用も含めた対応に努めている	利用者・ご家族との面談に十分時間をかけ、ニーズに対応出 来るように努めています。	○	今後も継続し、安心感のある生活をして頂けるよサポートし ていきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用 するために、サービスをいきなり開始するの ではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気 に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工 夫している	事前に事業所を訪問して頂いたりしています。また、ご家族 や友人・知人の面会や、何等かの関係で顔なじみの職員が いたりするので、大きな混乱なくサービス開始できています。	○	現在の受け入れ方法を継続し、安心して馴染んで頂けるよ うに努めたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におか ず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本 人から学んだり、支えあう関係を築いている	地域で昔から続けられている様々な行事と一緒に参加し、思 い出話をして頂いたり、特技等お聞きし尊敬の念をお伝えし たりしています。また、食事の味見や草取り、野菜作りなど一 緒にして、アドバイスを頂いたりしています。	○	今後も継続し、さらに喜怒哀楽を共感していきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におか ず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えて いく関係を築いている	利用者の状態、運営の状況を報告し、情報や意見を頂いて います。特に面会時や交流の行事時、会話を多くし共に支え あう立場である事を自然体で理解し合えるようにしています。	○	意見交換の機会を多く持ち、安心して共に支えあえる関係 の構築に努めたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努 め、より良い関係が築いていけるように支援し ている	面会、外出、外泊等、何時でも出来る体制をとっており、利用 者のご家族がより深く関わられるようしています。	○	利用者のご家族が、いつまでも良い関係を保てる様支援し ていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や 場所との関係が途切れないよう、支援に努め ている	面会の受け入れ、地域の行事への参加、ドライブ、外出、外 泊等グループホーム以外の方々との関わりが途切れる事のない よう支援しています。	○	今後も良好な関係が継続できるよう支援していきたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤 立せずに利用者同士が関わり合い、支え合え るよう努めている	個性的な利用者が多いので、個性を尊重しながらも、利用者 同士がお互いを思いやれる雰囲気作り、環境作りに努めてい ます。	○	目配り、気配り、心配りを常に忘れず、利用者の誰もが気持 ちよく生活出来る様支援していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院による契約終了がありました。その後はお見舞いや死亡時の弔問等、職員全員で関わりました。お見かけした時は、気軽に会話がなされています。	○	契約終了後も、良好な関係が保てる様、利用中より心掛けていきたいと思ひます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や意向を尊重し、それに沿った生活が送れるよう支援しています。困難な場合は無理強いしないで、その時の心身の状況に合わせて検討し支援しています。	○	その人らしく生活して頂けるよう支援していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用前にご家族や担当のケアマネージャーを通して生活歴や健康状態、利用状況など確認しています。	○	把握が十分でない場合は、利用開始後でもご家族へお尋ねしたり、日常の会話の中で把握出来るよう努めていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	これまでの生活歴等をきちんと把握し、心身状態を確認し、その人の出来る事・したい事に応じ、無理のないよう有する力を發揮して頂一日を過ごして頂いています。	○	心身の状態や残存機能を把握し、無理なく活用できるよう今後も支援していきたい。また、思い込みのサポートならぬよう、視野を広げたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族・必要な関係者よりご意見を伺い、本人や家族の意向に沿った計画を作成しています。また、職員会で検討し、意見やアイデアも反映させています。	○	今後も継続していきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況変化時は、ご家族、本人・必要な関係者と話し合い、現状に即した計画を作成しています。	○	日々、個々の状況を観察し、状態に即した計画を作成していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録は日々の生活や変化が把握出来るよう、具体的に記録され、個別にファイルしています。	○	継続していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外出・外泊・通院・墓参り・ご家族のホームへの宿泊等、要望や状況に応じた多機能な対応をしています。	○	今後も継続し、柔軟な支援に努めたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民生委員の方や消防署・警察署・教育機関等にはグループホームの事を理解して頂き、協力して頂いています。	○	今後は地域の交番への立ち寄りの協力や、文化・教育の関係者とも連携を図り、地域資源を活用していきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	同系列の施設やグループホーム訪問や受け入れ、他グループホームの訪問の受け入れ等実施し、相互にサービスが向上されるよう取り組んでいます。	○	今後も継続していきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進委員として指導等頂いています。	○	今後も地域包括センターの指導を受け、利用者の為に何が出来るのか検討したい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	総合病院が協力病院になっているので、いつでも安心して適切な医療が受けられています。	○	継続して適切な医療が受けられるよう支援していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	心療内科・精神科の専門病院を受診し、認知症に関する診断や治療を受けています。	○	今後も継続支援し、適切な治療が受けられるよう支援していきたい。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	同法人の特別養護老人ホームが隣接しているので、施設の看護職員に相談し健康管理に努めています。	○	きちんとした健康管理の下、安心して過ごして頂けるよう支援していきたい。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は面会を多くし、安心して入院して頂いています。また、早期退院に向け、病院関係者との連携を密にしています。	○	今後も日常生活の観察をきちんと行い、病院との連携を密に図り、入院期間の短縮に努めたい。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族の意向を伺い、医療機関との連携の下、状態に即した対応を相談し、全員で方針の共有をするようにしています。	○	本人・ご家族の意向を受け入れ、関係者全員で共有できるよう努めていきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化や急変に対応できるよう、日頃より医療関係との連携を取るよう努めています。	○	グループホームで出来る事・出来ない事について、ご家族に理解をして頂き、重度化や急変に備えていきたい。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	事例はありませんが、そのような場合は十分な情報交換等により、ダメージの軽減に努めたいと思います。	○	出来る限り現在の生活環境に近い状態で住み替え出来る様支援したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者個々の生活されてきた歴史を尊重し、言葉かけや対応等に配慮し、誇りやプライバシーを損なう事のないよう心掛けています。	○	個々のプライドやプライバシーを尊重する支援を継続していきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	その人に合った聴き方や説明を職員間で共有し、利用者が希望の表出や自己決定が自らできるようしています。	○	自己決定の困難な方へは、職員間で相談しながら支援していきたい。一回でも自己決定等が出来ないか働きかけはしていきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	理念に基づいて、一人一人が主役である事を念頭に置き、その人のペースで生活出来るよう支援しています。	○	心身の状態を考慮しつつ、ご希望に沿った支援で生活して頂きたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身だしなみについては、服装は自分で選べる方には選んで頂き、支援が必要な方には、一緒に選んだり助言したりしています。理美容については、馴染みの理髪店へお送りしたり、美容師の方にホームへ来て頂いたり、ご家族と行きつけの美容院へ行って頂いています。	○	その方の好みに応じ、季節や場面に応じた身だしなみが出来よう今後も継続支援していきたい。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の買出しに同行して頂き、食材と一緒に選んでいます。野菜を切ったり、味見をしたり、盛り付け等、個々の力に応じて頂いています。片づけは自らされる方が5名いらっしゃいます。菜園に野菜を作り、手入れや収穫を利用者と共に行っています。	○	一部の方はご自分の食器やお箸を使用しています。今後は全員の方がご自分の好みの食器やお箸でより食事が美味しく食べられるよう相談していきたい。他は継続支援としていきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お茶・麦茶・スポーツ飲料・紅茶やコーヒー・ココア等、バーベキューパーティやクリスマス・忘年会等にはビール等、それぞれ状況に応じて楽しんで頂いています。	○	希望を伺いながら、食べたい物、飲みたい物があれば準備して楽しんで頂きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表にて排泄のパターンを把握し、トイレ誘導を実施しています。便秘気味の方には、起床時に白湯を飲んで頂いたり、食材等工夫して気持ち良く排便出来るようにしています。改善見られないときはセンナ茶や医師に相談して薬を処方してもらっています。	○	最近、食後にトイレに座って頂き、排便を促しており、タイミング良く排便できたりしています。今後とも気持ちよく排泄できる方法を探っていききたいと思います。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	バイタルをチェックし、安定している方には、入浴の意向を伺い、入浴のお誘いをしています。気分がどうしても向かない、長く入浴されていない方には、ご家族の協力(電話等)を頂きながら、気持ち良く入浴出来る様支援しています。	○	今後とも継続支援して行きたいと思います。入浴嫌いの方への支援にもっと工夫をして行きたいと思います。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の生活パターンを大事にし、自由にお部屋で休養して頂いたり、ホールのソファで寛がれたり、又散歩を楽しんで頂いたりしています。	○	個々のリズムで生活できるよう、今後も継続支援していききたい。
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	お一人お一人の得意な事、出来る事、したい事をして頂く機会を作り、楽しみや張り合いを持って生活して頂けるよう支援しています。	○	本人の得意とするところを引き出し、喜びのある暮らしが送られるよう支援していききたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	それぞれの力に応じて、事務所で管理したり、必要時のみお渡ししたりしています。お小遣いのみ、ご自分で管理されている方が一名いらっしゃいます。	○	今後共、個々の力に応じた支援をしていききたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やドライブ・買い物同行、隣接している苑での慰問等、ご希望に沿った外出ができるよう支援しています。	○	体調や気分を確認しながら、外出できる機会を多くしていきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望があれば可能な限り対応しています。弁当持参で季節の花々を見学に行ったりもしています。ご家族と外食に出かけたりもしています。	○	今後にご家族と一緒に出かけられる機会を増やしていききたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望時や必要時いつでも出来るようにしています。手紙については、暑中見舞いや年賀状にお名前を書いて頂く程度です。	○	十分読み書き可能な方がいらしゃるので、今後は葉書など利用し、手紙のやり取りができるような支援もしていきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも訪問して頂き、希望時は宿泊もして頂いています。	○	何時でも気軽に、訪問できる雰囲気作りに今後共全職員心がけていきたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日々の支援の中で、身体拘束とはどういうものなのか話し、身体拘束のないケアに努めています。	○	今後は人権擁護のうえからも会議で取り上げ、しっかりした知識を理解していきたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	午前6時30分より午後8時30分の間は玄関の鍵はしていません。面会時は、柔軟な対応をしています。居室の出入り口には鍵はありません。	○	今後も開放感のある支援に努めたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	所在の確認をしっかりとし、職員間の連携を密にして、安全に配慮しています。	○	今後も、所在の確認、職員間の連携を十分にし、安全確保をしていきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬は鍵のかかる物品倉庫の一角に保管しています。包丁や鎌等は目に触れないよう新聞紙で包み、所定の場所に保管しています。	○	常に現状を確認し、安全管理に取り組んでいきたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個々の状態を把握し、起こり得る事故を予測して、事故防止に努めています。	○	今後は、危険予知訓練等、学習会を開き、事故防止に努めていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年1回、消防署の協力のもと、全職員が応急手当や初期対応の訓練へ参加しています。	○	今後は訓練の機会を増やし、しっかりと身に付け、緊急時に対応できる技術をしっかり身につけたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的な訓練を実施し、非常時の非難に対応出来るようにしています。地域の会長さんにお願ひし、近隣への協力体制も出来ています。特に台風等、非常事態が想定される場合は、長期保存可能な食品を準備しています。	○	地震に対しての、準備がなされていないので、今後はあらゆる災害を想定し、対応策を検討していきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	契約時にリスクに対しては説明しています。また、状態の変化については、速やかにご家族に連絡しています。	○	今後共、密に連絡を取り、信頼関係を深めたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックや食欲・排泄チェック等把握により、又は隣接している苑の看護師の協力により、早期の異常察知に努めています。ご家族への連絡はその都度実施しています。介護日誌や連絡帳、介護記録により情報の共有はなされています。消防署や協力病院との連携も図れています。	○	継続支援していき、重度化しないように努めたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用等については、病院や薬局よりの説明書で理解しています。いつでも見られる様、薬箱の横に置いてあります。症状の変化については、日常的に観察しています。	○	服薬の変更時は、連絡帳や介護日誌等で全員確認出来るようにしています。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	運動・食材の工夫・水分等に留意し、出来る限り自然排便に取り組んでいますが、薬による排便も実施せざるを得ない方もいらっしゃいます。	○	便秘の及ぼす影響を十分に理解し、気持ちよく排便出来る工夫を今後も探していきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時、就寝前にご自分で可能な方には声掛け、見守りにて口腔ケア支援をしています。それ以外の方には、力に応じたケアや緑茶等で口腔内の清潔保持に努めています。	○	出来る事なら、昼食後の口腔ケアにも取り組み、口腔内の清潔支援に努めたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量のチェックにより、状態を把握しています。栄養のバランスについては、野菜の種類を多くしたり、植物性、動物性蛋白質等考慮しながら献立を工夫しています。量については、個々の意向に出来るだけ沿うようにしています。	○	利用者と方と献立も考えながら、食事を楽しめるよう支援していきたい。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染に対するマニュアルを作成しており、発生予防に努めています。	○	感染の予防に重点をおき支援していきたい。日々、危機感を持って支援し、発生時は速やかな対応ができるよう支援したい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日、その日の食材は近くのスーパーへ買い出しに行って、新鮮な物を購入してきています。肉類はまとめ買いし、冷凍保存しています。調理器具については、包丁やまな板、布巾は台所用の塩素系の消毒剤で消毒しています。手洗いの励行を徹底しています。	○	継続して、衛生管理に努め、食中毒の予防に努めたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	手作りの表札をかけたり、季節の花も植えたりして、親しみやすい雰囲気作りに努めてはいるが、少し寂しい感じである。玄関の中には、季節の花を飾り、親しみやすい雰囲気作りになっています。	○	玄関周りをもう少し明るく、入り易い雰囲気に出来ないか、相談していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を味わえる草花を飾ったり、飾りつけ等して、工夫しています。音や光等にも心配りしています。	○	落ち着いて、居心地の良い生活空間になるよう、更なる工夫に取り組みたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者同士で居室を行き来されたり、居間での一人でのテレビ鑑賞など、思い思いに過ごされています。魔法瓶を持たれ、ご自分が好きな時、お茶を楽しまれている方もいらっしゃいます。	○	冬場炬燵の活用も考えていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具等持ち込んで頂き、居心地良く過ごして頂ける工夫をしています。	○	本人にとって、安心感のある居心地の良い居室になるよう、今後も支援していきたい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日、こまめに換気しており、空気がよどまない様にしています。個々のエアコンの調節は職員で、個々の体調に考慮し適度な室温にしています。	○	今後ともこまめな換気や温度調節に配慮し、気持ちよく過ごして頂く支援に努めたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の身体機能や力に応じベッドや布団使用でお休み頂いています。トイレや浴室の一部には手摺りが取り付けられているも、活用しにくく、住宅環境コーディネーターに相談中です。	○	身体機能や力を十分に発揮でき、安全で自立の期待できる住環境を提供したい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室には表札を掲げ、トイレには目印をし、混乱することなく、失敗する事なく、自立出来る支援に努めています。話はゆっくりお聞きし、安心感を持って頂ける様支援しています。	○	自立した生活の幅が少しでも広がるよう支援していきたい。
87	○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	天候を考慮しながら、裏庭の芝生でお茶を楽しんだり、時にはおにぎりを準備し、屋外で昼食を摂って頂いたり活用しています。夏にはバーベキューパーティもご家族と楽しんで頂いたりしております。散歩の場としても活用しています。	○	車椅子の方がいらしゃるので、気軽に外でお茶や食事が出るよう、庭で使用できるテーブルや椅子の準備を相談していきたい。

V. サービスの成果に関する項目	
項 目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらい
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらい
	<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
	<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> ③たまにある
	<input type="radio"/> ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input checked="" type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input checked="" type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き生きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

地域との関わりを深める為、地域の諸行事や小学校の運動会等、積極的に参加しより深い関わりを持ち、グループホームへの理解と認識を持って頂ける様取り組んでいます。